

令和3年9月1日

第2学期 始業式 校長あいさつ（放送）

愛龍生のみなさん、おはようございます。校長の倉持です。

残念ながら、二学期の始業式は緊急事態宣言中の特別対応の始業式になりました。

そのため、今日の登校日は、これからの学校の予定や学校生活・家庭生活の注意すべき点などについてそれぞれ大切な事柄の確認になりました。

これは、コロナ感染状況が、夏休み前とは大きく異なっているためです。感染者数の急増に伴い、二十歳未満の感染者が予想以上の比率で増えています。これまで比較的若い人の感染は少ない傾向にあるといわれてきましたが、最近の状況は、中学生や高校生の感染者が増えています。その感染経路も家庭内感染が多くなっているようです。また、医療体制の逼迫もあり、感染しても適切な治療が受けられない、とても不安な状況が続いています。

1年半以上も続く行動制限など、マンネリ化やストレスなどにより、私たちの気持ちも揺れ動いてしまうことがあります。

しかし、コロナに感染した人の多くの共通点は、「まさか、自分が感染するとは思っていなかった」ということです。コロナ感染は他人事ではなく、自分事として考えなくてはなりません。つまり、自分にも起こり得ることだと考えて、生活することが今とても重要になっています。

そこで、みなさんをお願いします。これまで以上に、「自分は感染しない、感染させない、という意識を強く持って行動してください」そして、「命を守る行動をしてください」これが、校長からのお願いです。これは、私を含めすべての先生方にも当てはまることです。

毎日の健康観察については、自分ばかりでなく、家族全員の健康状態を確認していきましょう。家族全員で「命を守る行動」を心がけていきましょう。

9月12日までの休校期間中、皆さんが、健康で安全な生活が送れることを心から願っています。

以上で、校長講話を終わります。